

平成 28 年度 事業計画の実施状況

(1) 教育面

1 「第3期5カ年計画」(平成25年度～29年度)の推進

本計画の3本の柱、「学習活動と部活動の充実」「生徒の自主性の育成」「学校の独自性の追求」に基づいて策定した諸目標の達成に取り組んだ。

(1) 学習活動と部活動の充実

① 学習活動

- 進学率を90%以上にし、国公立大学合格者60名以上を達成する。
- 進学意識の向上…1年の大学見学を秋から7月に早めて実施(継続)。
- 「進路の時間」の充実、体験学習や説明会への積極的な参加を進めたい。

○ 進学状況

国公立大学 合格者	22人(前年比 4人減)
私立大学 合格者	172人(前年比29人減)※ 延べ人数
短期大学 合格者	15人(前年比 9人減)
看護学校 合格者	16人(前年比 2人増)
就職	92人(内訳;学校推薦78人(100%)、縁故など14人)

○ 進路支援

推薦入試検討会、一般受験検討会の複数回実施
1・2年特進コースに対する学習定着度会議の実施

② 部活動

「部活動加入WEEK」の実施 部活への体験的参加

○ 部活動実績

ソフトテニス	全国インターハイ出場(2ペア)、国体出場
女子バレー部	全国インターハイで決勝トーナメント出場 春高バレー出場(連続4回)、ベスト16
書道部	全国大会出場(H29年度出場権も獲得)
バトントリング部	全国高総文祭出場
将棋部	高文連全国将棋新人大会出場

(2) 生徒の主体性の育成

生徒一人一人が、問題や課題、将来の目標を見据え、自ら考え、工夫し、行動し、達成感を得ることのできる学校作り

① 生徒に責任を持たせることで、リーダーを育成する。

- 富士見祭や生徒集会の生徒主体の準備・運営。新たなアイデアの提案。
- 部活動や委員会と連携したあいさつ運動 1年間を通して実施(継続)
運動に参加する人数が多く、威圧に感じないような工夫をしていきたい。

(3) 学校の独自性の追求

長い伝統を持った私立高校としての特色があり、生徒一人一人が愛校心をもてる学校作り

- 富士駅にポスター展示スペースを確保（継続）
- 学校開放（公開講座）中学生対象のサッカー、バレーボール、バドミントン
- ホームページの充実
学習面で重点を置く分野を決め、それを本校の特徴になるよう取り組んでいくことも検討していきたい。

2 学習支援の強化（生活・学習習慣の定着）

生徒の生活習慣、学習習慣の定着を図る。

- 朝の挨拶運動 年間を通じて、部に委員会が加わって実施（継続）
- 朝の登校指導 環境安全部（継続）
- 教育課程を受験科目に重点化
- 各教科のシラバス作成（中学校は全学年完成。高校は昨年度完成し、今年度は一部改訂。）
- 特進コース … スタディサポート（ベネッセ）による学習習慣分析（継続）
関係教員全体による分析会だけでなく、教科ごとにも実施したい。
- 特進Ⅱ類 … Ⅱ類ゼミ、全員参加のテスト前学習、年間2回全国模試受験
- 進学コース … 文理系の進学コースゼミ、テスト前学習（継続）
WSの内容の工夫と実施（天声人語、基礎力の確認と補充、英語はST制導入による学習意欲の向上、進路）
- 平成29年度からの特進Ⅲ類の教育課程の編成
- 平成29年度から中学校に自主活動（部活動と自主学習の選択）を導入
- 平成30年度から2学期制から3学期制への移行

3 学習環境の整備と安全教育

- スマホ講座の実施（生徒向け、保護者向けの計2回実施）
- 生徒事故 … 大きなものはなかった。安全教育の継続
- 施設整備 … 電子黒板の導入（特進コース、中学校）
平成29年度 高校1年Ⅲ類用教室の整備

4 高校の生徒募集の安定化

- 28年度入学者は362名（単願351名、併願11名）
- 29年度入学者は383名（単願326名、内進生16名、併願41名）

- (1) 進路に期待の持てる学校
- (2) 一人一人の生徒に居場所のある明るくて楽しい学校
- (3) スクールバスの運行（4コース、登校1便、下校3便）
 - ※ 最終便に乗車する生徒が極少数のため、平成29年度から各コースとも2便に減便。
- (4) 広報活動
 - ・ 1日体験入学の内容の改良：本校教員による授業（3年目）
 - ・ 中学校訪問（7回）
 - ・ 土曜入試説明会（4回）、夜間入試相談会の実施（5回）
 - ・ 中学校での学校説明会（22回）、私塾主催進学相談会参加（2回）
 - ・ 塾・予備校の教員対象学校説明会
 - ・ 新聞折込み広告（4回） など

5 中学校の運営・推進と生徒募集の安定化

- (1) 教育活動
 - ・ 行事により、集団としての成長があり、一人ひとり精神的に成長したが、もう一段の主体性が望まれる。
 - ・ 学びあい数学、学びあい英語の授業等で、多くの教員がかかわることで、生徒の学習意欲に変化あり。
 - ・ 家庭学習を定着させる方法を工夫したい。
 - ・ 平成29年度から自主活動（部活動と自主学習の選択）を導入
- (2) 広報活動
 - ・ 小学校訪問（パンフレット配布など、8回）
 - ・ 塾経営者対象説明会・学校説明会・オープンスクール等（6回）
 - ・ 塾訪問、学校見学会案内送付（7回）
 - ・ 英会話教室・夏休み宿題サポート（全3回）
 - ・ 新聞広告（1回）、折込み広告（2回）
 - ・ 私塾主催私立中学校説明会、進学相談会参加（全3回）
 - ・ 夜間入試相談会（5回）
 - ・ ポスター掲示、その依頼 など
- (3) 入学者選抜
 - ・ 第1回（1月7日）… 受検者18名、合格者15名、入学手続き15名
 - ・ 第2回（1月8日）… 受験者8名、合格者6名（3名）、入学手続き5名
(2名)
 - ・ 第3回（1月21日）… 受験者6名、合格者4名、入学手続き4名
 - ・ 入学予定者21名（平成28年度は14名）

(2) 財 務 面

「健全財政の堅持」の実現に努め、平成28年度決算では基本金組入前収支差額5,137万円の黒字、収支差額4,827万円の黒字であった。累積収支差額は16億円548万円で経常収支の1.54倍という黒字であるが、当初2倍の財務目標は達成できませんでした。

- 平成28年度当初の学園規模は下表のとおりです。(平成28年4月現在)

	富士見中学校	富士見高等学校	合 計
生 徒 数	49名	1,000名	1,049名
専 任 教 員 数	6名	39名	45名
常 勤 講 師 数	1名	29名	30名
非 常 勤 講 師 数	1名	23名	24名
専任事務職員数	1名	4名	5名
事務嘱託員数		7名	7名

- 人件費関係比率は、学則定員充足率が76.0%のため全国平均を上回っている比率と思われる。

	平成28年度 富 士 学 園	平成27年度 全国高校平均
人 件 費 率 (対経常収入)	64.1%	65.0%
人 件 費 依 存 率 (対生徒納付金)	134.5%	119.8%
補正人件費依存率 (対生徒納付金+経常費補助金)	71.6%	71.6%

- 教育環境整備について

既存校舎及び設備等の老朽化に伴う改修については、引当特定資産等の取崩しは行わず、平成27年度繰越支払資金にて対応できた。

既存校舎改築に備え、施設設備拡充引当資産への積み増しを進めてきたが、当年度では2,400万円程度の繰入とした。